

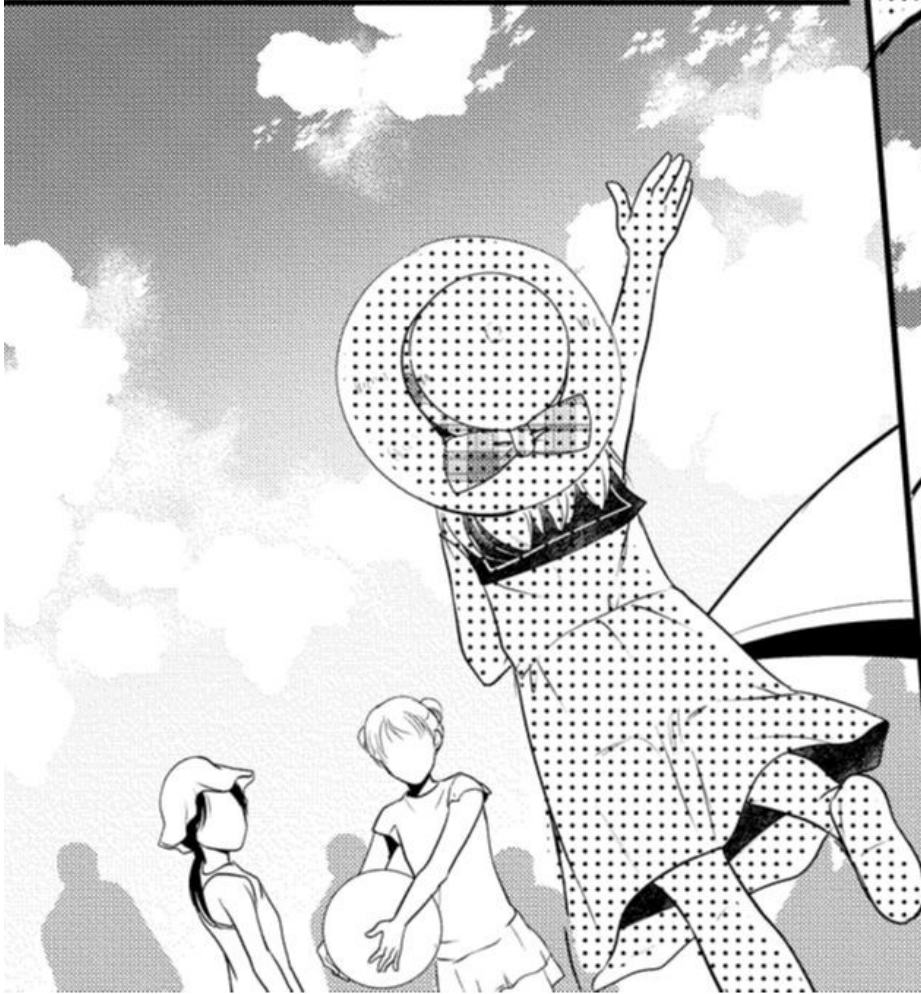
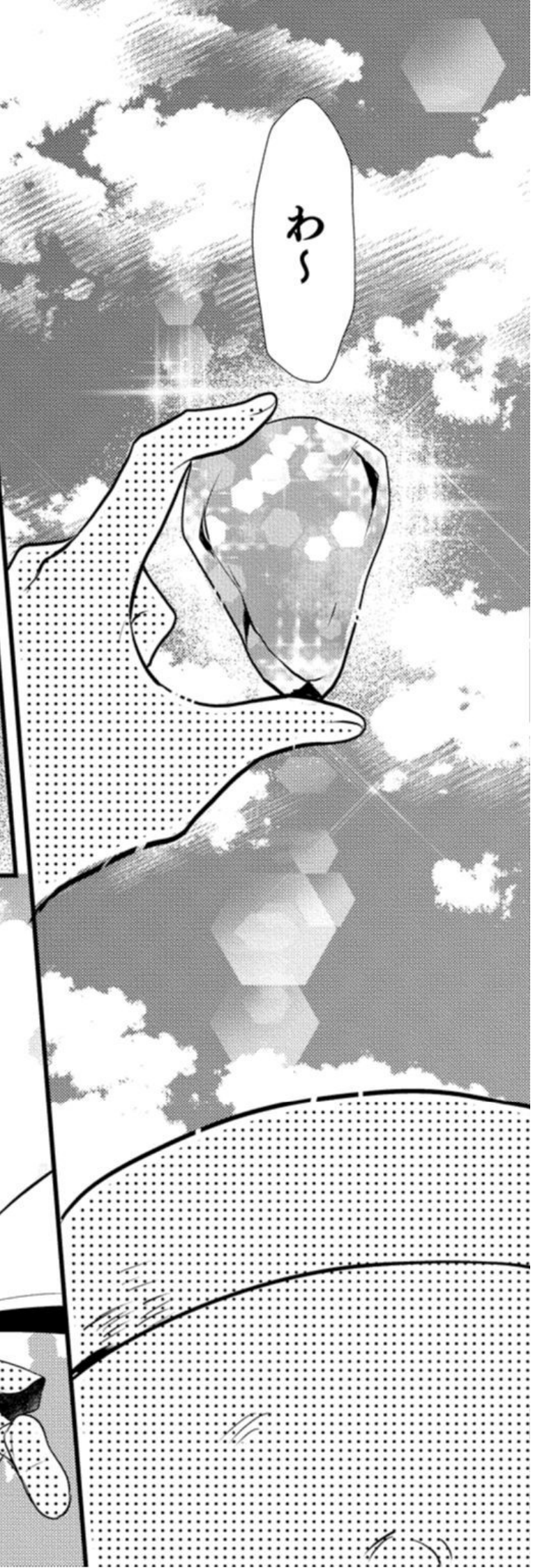
木成あけび
KINARI AKEBI



上司が恋をしな
JOSHI GA KOI WO SHINJINAI
を
信じた
前編

例えば
小さな頃



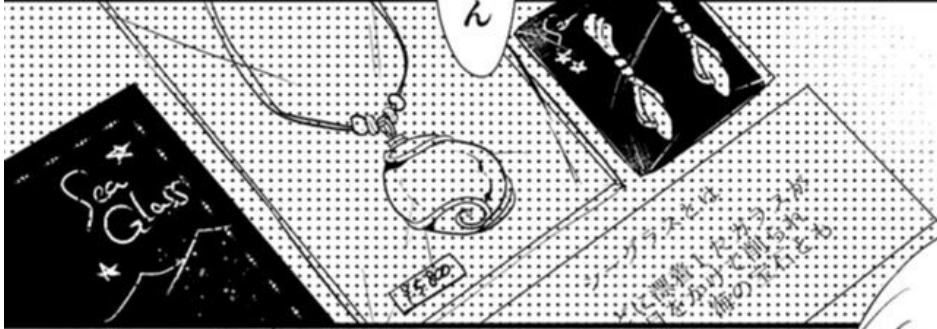




後から思い返せば
自分に非のなかった事で
他人から責められた
思い出はない？



...さん



里見さん
さとみ



そのシーグラス
なにか問題でも
ありましたか?

ひょーっ

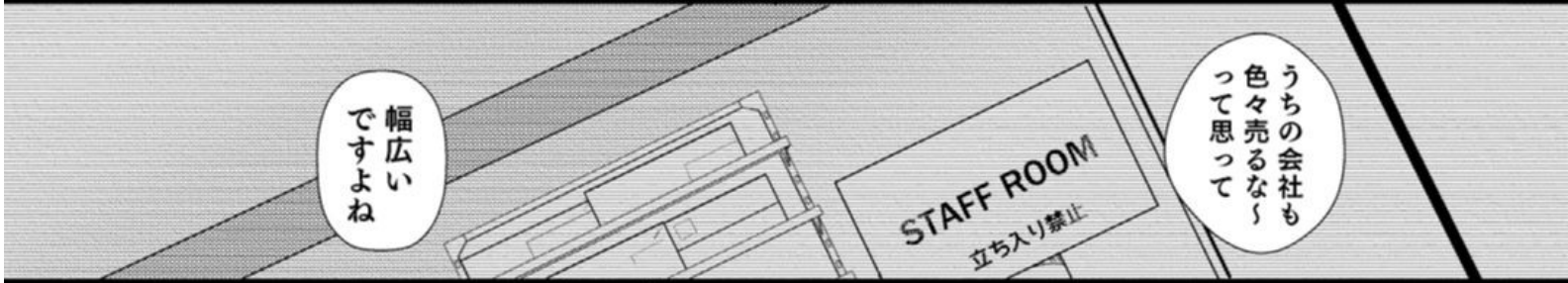


里見さん
そういうの好き
なんですか？

綺麗だなあって

…別に

…嫌いじゃないよ



幅広
いですよね

うちの会社も
色々売るな
って思っ

STAFF ROOM
立ち入り禁止



なにか
用事？
もう聞きたま

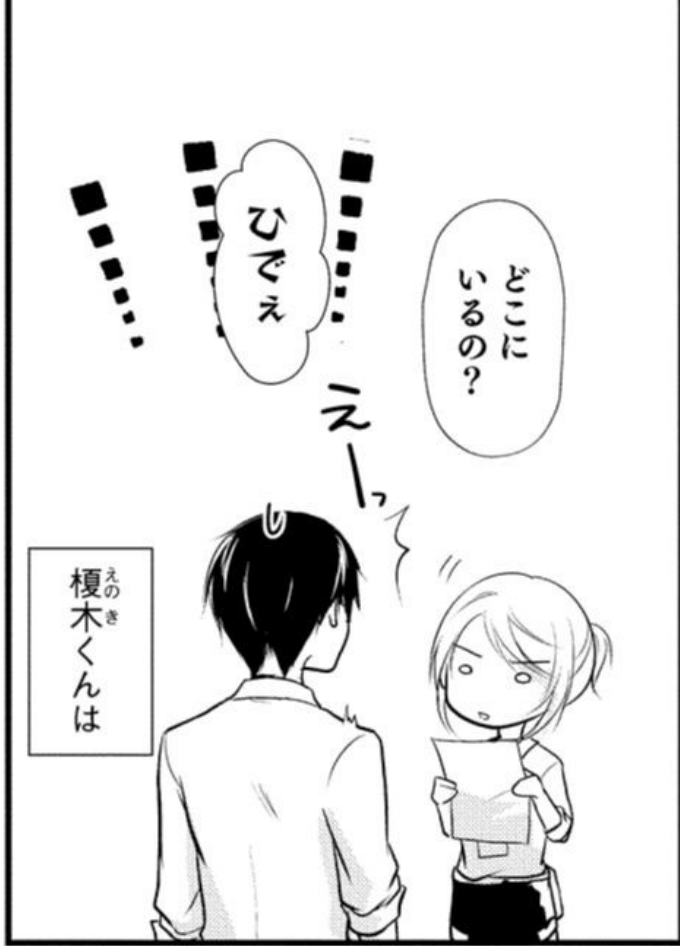
はい

今度俺の出る舞台が
あるんですけど

良かったら来て
くれませんか？

スッ

舞台？





いいなあ



いいなも何も
この日休みなの
私だけじゃない

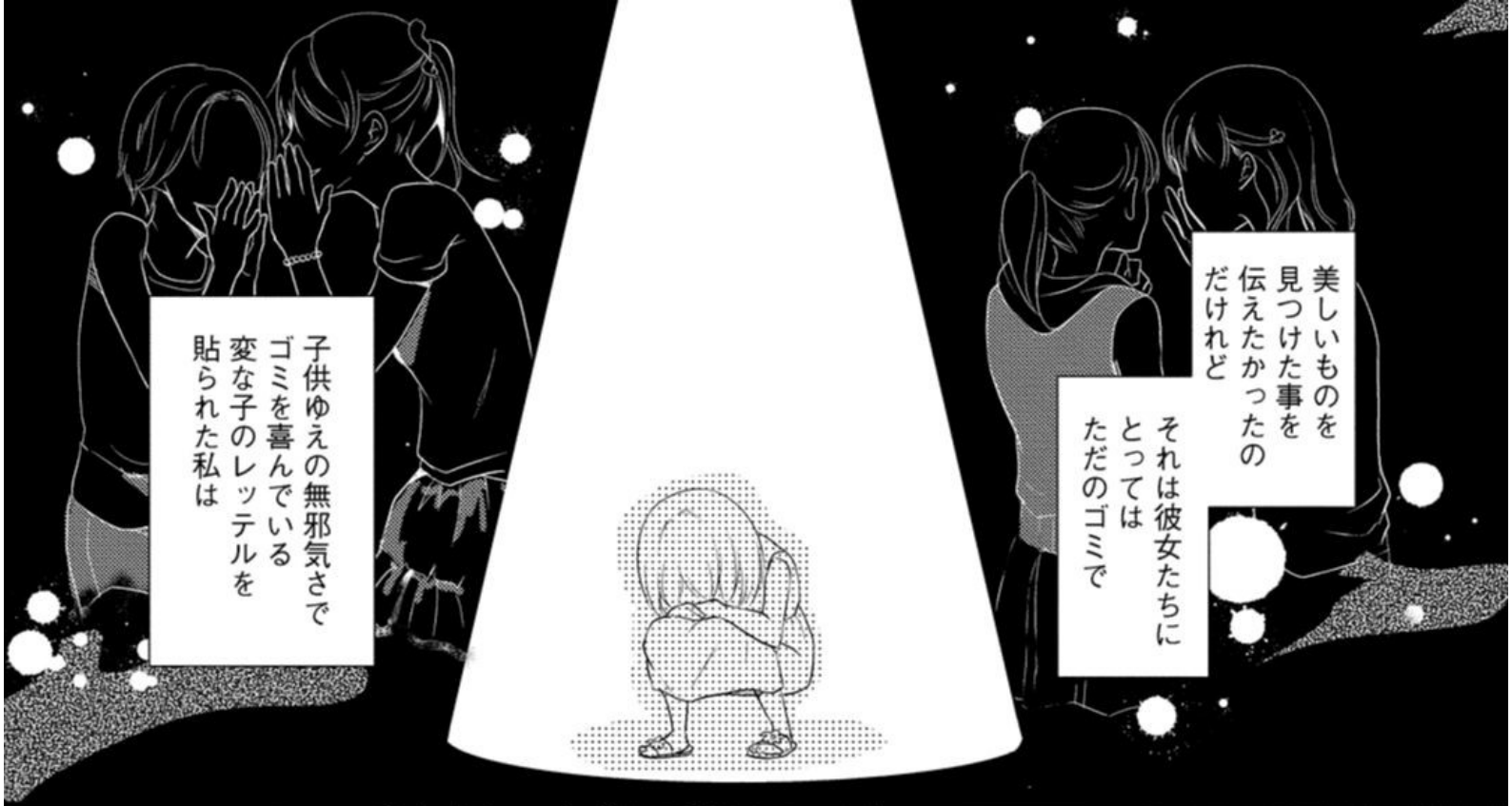
榎木くんだって
ノルマとか
あるだろうし
可能なら皆
呼びたいでしょ



榎木くんの
舞台私も
みたい

ね、皆
行きたいって
思っているのに

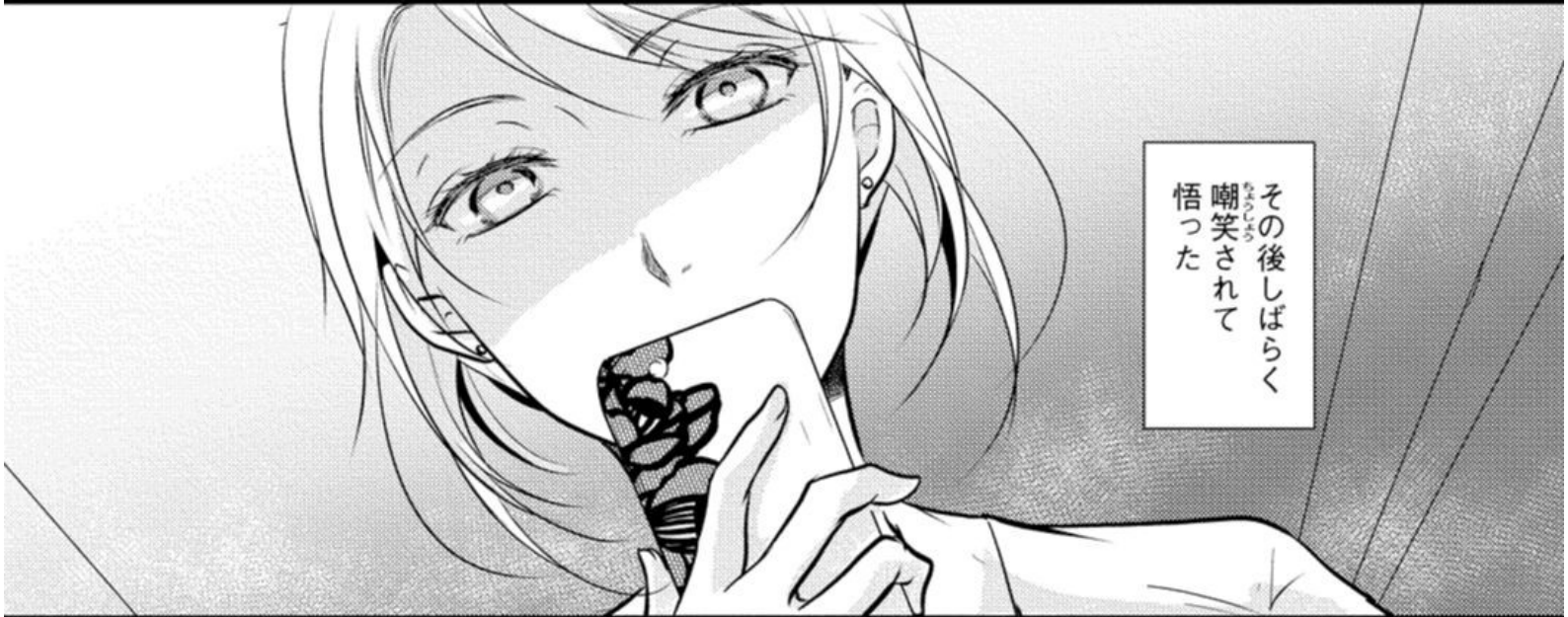
里見さん
いいなあ



子供ゆえの無邪気さで
ゴミを喜んでる
変な子のレットルを
貼られた私は

美しいものを
見つけた事を
伝えなかったの
だけれど

それは彼女たちに
とっては
ただのゴミで



その後しばらく
嘲笑ちょうしやうされて
悟さとった

人が人を
責める事に
明確な理由など
存在しない

大事なのは同調

周りにあわせて
変に目立たない事

今日はご来場
いただきまして…

開演に先立ち
まして…



間もなく
開演いたします…





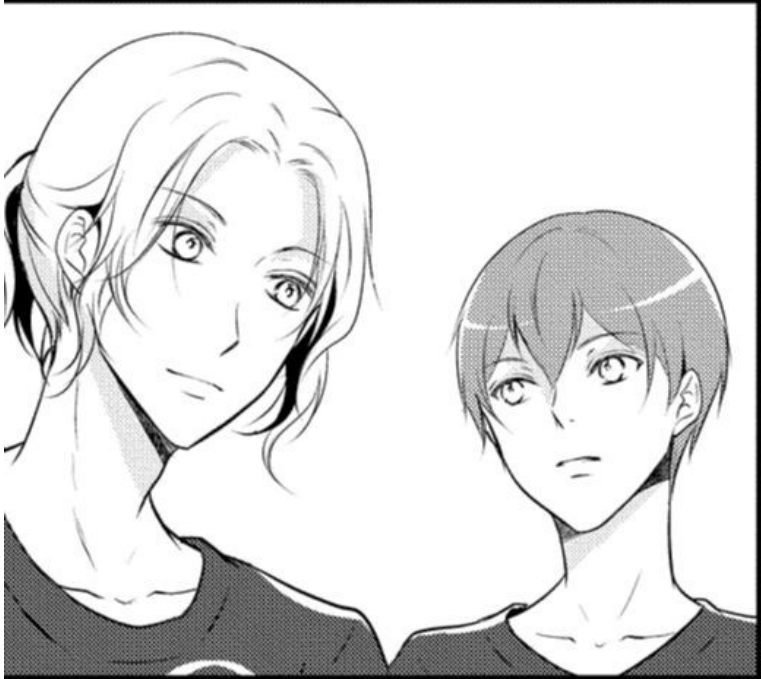
自分とは
違う世界に
ある人だ



役者陣へのお手紙などこちらで承ります

本日はご観劇ありがとうございました

次回公演チケット
販売中
100%



お願いします

ありがとうございます
どちら宛で

榎木さんへ



…良ければ
本人呼びますが？

いえ
お忙しい
でしょうから

楽しませて
頂きました
ありがとうございます

ああやって
彼は自分の
選んだ道を
進んでいる

一瞬でも好意を
持たれているのかと
思った自分が
恥ずかしい





里見さん

昨日は
ありがとうございました

すみません
差し入れまで
頂いたのに
挨拶もできなくて



ううん
お客さん
いっぱいいたし

私より滅多に
逢えない人を
優先して



良かったよ
話も面白かったし

...あの
どうでした？



気合入って
いましたから



楽しそうなのが
伝わってきた



折角里見さんに
観てもらおう
機会でしたし



次の舞台の日程で
シフトのご相談が…
ほんと
すみません



それで…

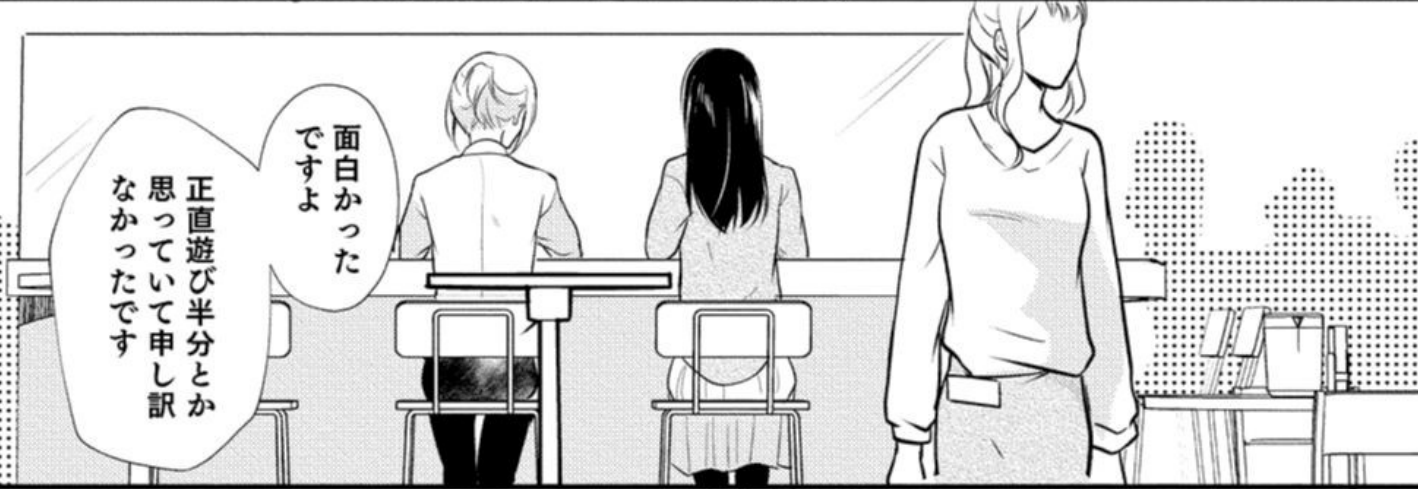




店長まで……



で
舞台は
どうだったの？



正直遊び半分とか
思っていて申し訳
なかつたです

面白かつた
ですよ



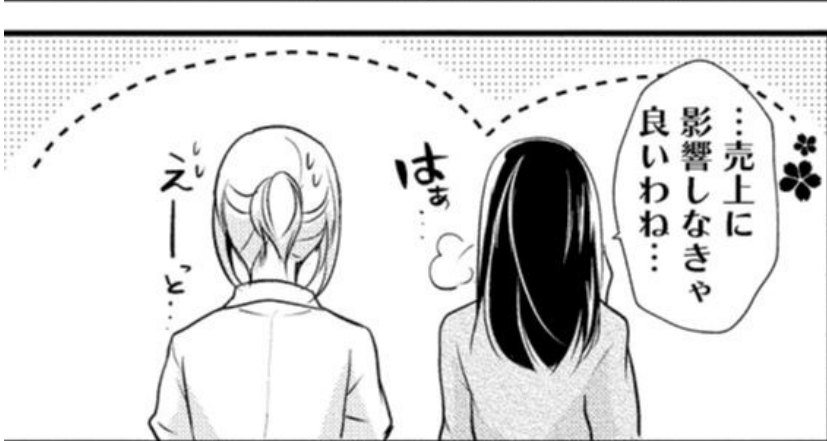
……もしかしたら



楽しそうでした

さすが
職場の人気者

学生バイト達が
羨ましいって
昨日ずっと
話していたよ





と
思
っ
て
い
た
の
だ
け
れ
と



差
し
入
れ
の
意
味
が
無
く
な
る
よ

…
別
に
い
い
の
に
お
礼
な
ん
て



甘
い
も
の
嫌
い
で
す
か
?

ま
あ
そ
う
言
わ
ず
に

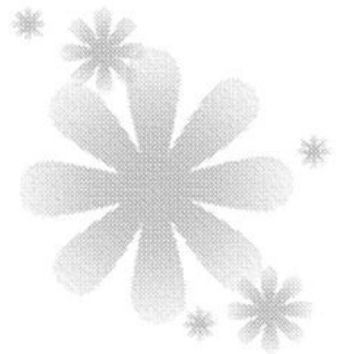


…
好
き
な
ん
だ
な

別
に
…



はっ





場の雰囲気を
壊さないように
上手く調整したり

足りない部分を
フォローしたり



そういう所
尊敬しています

うわああ



わああ
役者って怖い

ええええ

…ありがとうございます

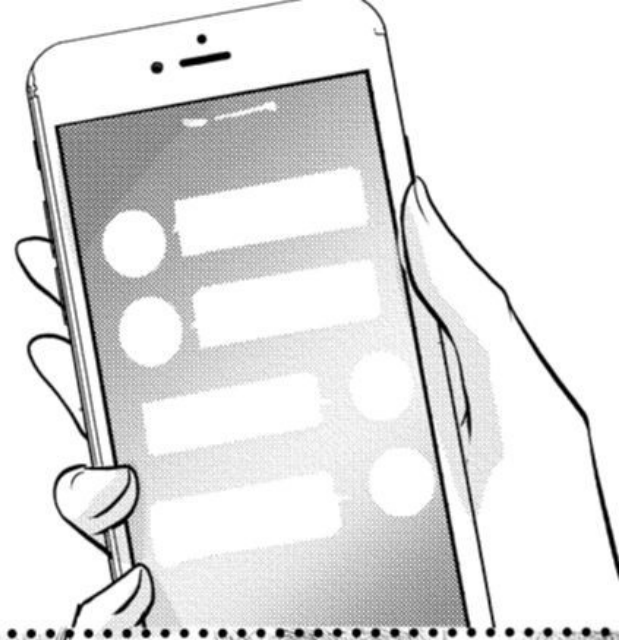
どうしよう

恥ずかしい

それ以後



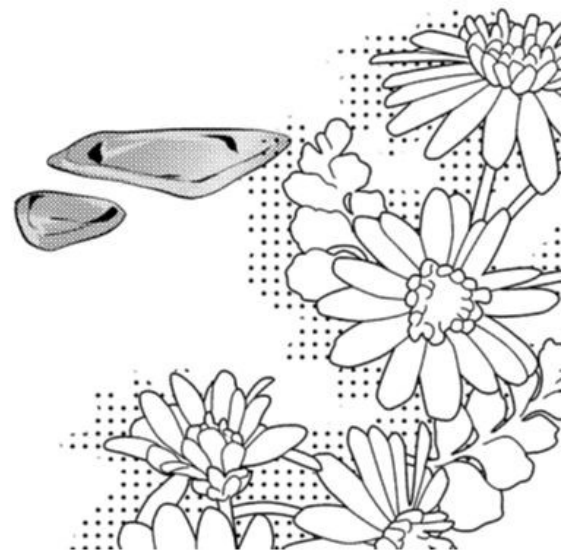
榎木くんと
一緒にいるのは
楽しい



…まづい

榎木くんは
ちよくちよく私に
構ってくるように
なった

でも
その分怖い





まだ大丈夫

…とは
言っても

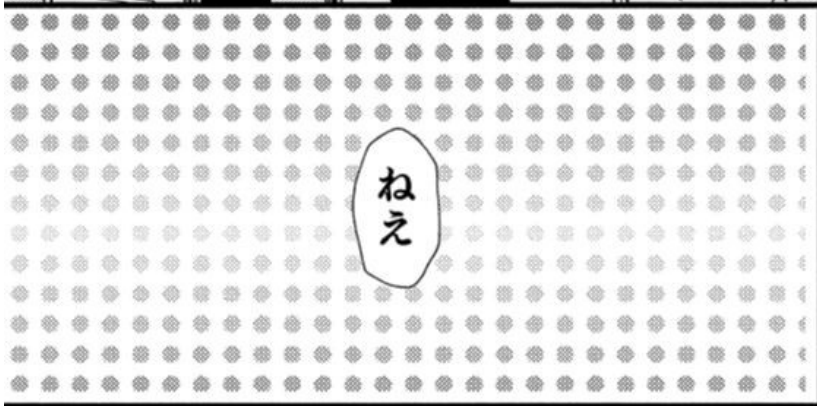


現実的に
あんなに輝いて
いる子が
私とどうこうとか
ありえない
芸能人みたいなものだ



だから

平気



ねえ



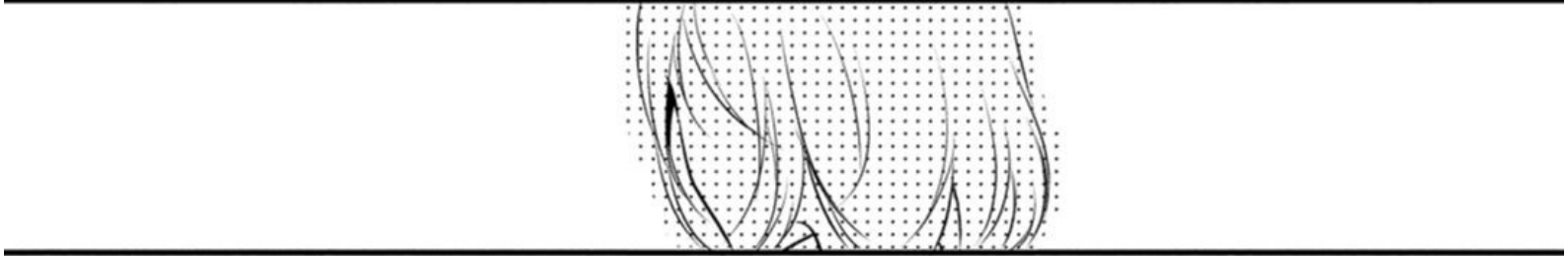
深みにハマって
しまいそうな
自分がいるのを
感じている



うわー
大人しい顔して
ちやつかりしてるな
里見さん

ゴッ
ドリンク

里見さんと
榎木くんが
この前一緒にいるの
見たんだけど

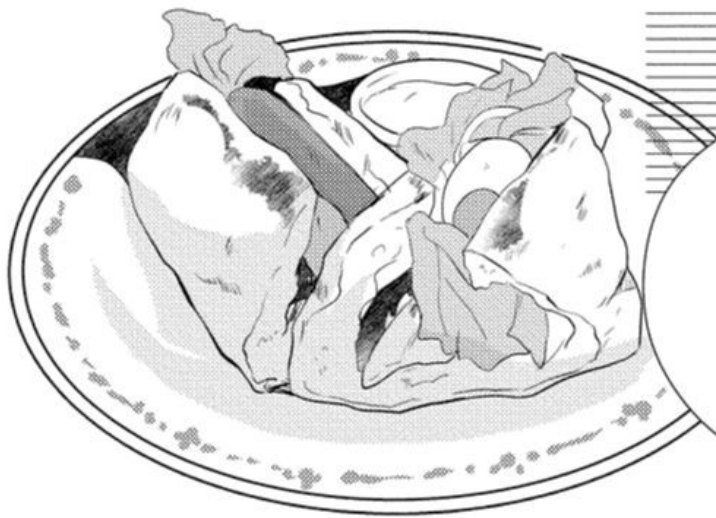


キヤバサッ
年下に
色目使うなよ
ババアがさあ

…まだ平気

…意外に声が
響くんだよね
ロッカールーム





え？

もうお礼とかで
呼ばなくていいよ

榎木くんも
稽古とかで
忙しいでしょう？

シフトの調整
したからって
気を使わなくて
いいよ

…もしかして
わざとですか？

えっ？



出ましようか



榎木くん…?



えっ?



んっ



まさか

あっ

ふっ

フッ



里見さん



こんなこと



ささどまか？



あるわけない

End



2018年12月1日発行

上司が恋を信じない 前編

著者：木成あけび
©kinari akebi2018

発行所／株式会社インテルフィン

発行人／今本勝行

〒171-0014 東京都豊島区池袋2-55-2 鈴木ビル4階

©Intelfin Inc.2018

本書に関するお問い合わせ、ご要望、ご感想は、
公式ホームページ・twitterまでお寄せください。

HPアドレス ▶ <http://www.intf.jp/AmarE/>

twitterアカウント ▶ @intf08AmarE

本作品の全部または一部を無断で複製、転載、改竄、公衆送信すること及び、
有償無償に関わらず、本データを第三者に譲渡することを禁じます。

なお、個人利用以外の複製等を行った場合、著作権法により処罰されます。
また、個人利用であっても、コピーガードを解除しての複製は、法律で禁じられています。